

元気いっぱい 笑顔いっぱい
あいしょうキッズ



愛知川幼稚園 ひまわりぐみ (5歳児クラス)

元気いっぱい、ひまわりのような笑顔あふれる27人の子どもたちです。遠足で行った水族館での体験をきっかけに、お部屋で水族館ごっこをして楽しんでいます。今までの経験を生かして、友だちとアイデアを出しながら遊ぶ子どもたち。これからもみんなで毎日楽しく過ごそうね!

ひまわり組担任 濱岡 唯菜 野瀬 弘美 福永 奈美



秦荘幼稚園 すみれぐみ (5歳児クラス)

元気いっぱい、すみれ組15名の子どもたち。友だちを誘い合って鬼ごっこやお店屋さんごっこなどを楽しんでいます。これから楽しみなことがたくさんあるね。みんなで思い出をいっぱい作ろうね!

すみれ組担任 小泉 有技 宮澤 典代

わたしのギャラリー



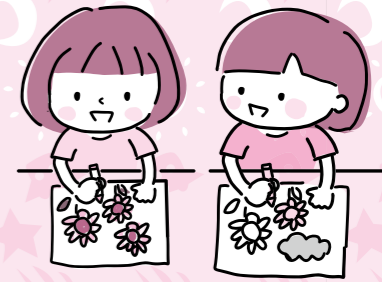
秦荘西小学校6年 山脇 隆成さん

「海の風景」という作品です。背景の橋を作るのが難しかったです。くるくる動かす乗り物や鳥、きれいな海を表現することができました。



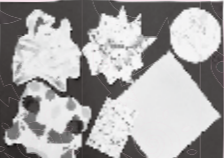
秦荘西小学校6年 森 奏人さん

今回の作品は今までよりもよくできたと思います。がんばったところは、野球選手を描いたところです。これからも図工をがんばって作品を作っていきたいです。



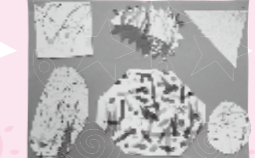
愛知川小学校5年 川野 結雅さん

色々な技法を使って心表現することをがんばりました。ほくは、達成感を緑で表現したかったので、緑を多く使いました。



愛知川小学校5年 教野 晴斗さん

ほくが一番がんばったところは、デカルコマニーの色使いや形を工夫したところです。色々な技法を使うのは難しかったけど、自分の心の様子を表現できました。



愛知川小学校5年 木村 咲奏さん

私が一番がんばったところは、真ん中にあるハートからわき出した色々な気持ちを表現できたところです。色のグラデーションを作るのが楽しかったです。



子どもなんでも相談室

◆自閉スペクトラム症

今回は「自閉スペクトラム症 (ASD)」についてお伝えします。これまで自閉症、広汎性発達障害、アスペルガー症候群などの名称で呼ばれていましたが、近年は「自閉スペクトラム症」とまとめて表現されるようになりました。「自閉スペクトラム症」の原因はまだ特定されていませんが、多くの遺伝的な要因が複雑に関与して起こる、生まれつきの脳の働き方が原因と考えられています。親の育て方が原因ではありません。

「自閉スペクトラム症」は人との関わりにくさ、コミュニケーションのとりにくさ、特定のものへのこだわりや想像力の乏しさといった特徴があります。

しかし、同じ「自閉スペクトラム症」と名前がついていても、言葉が話せない人から、スラスラと話せるけれど関わりが一時的な人までいます。

また、目がとても合いにくい人や、日常生活は問題ないけれど相手の気持ちを読み取ることや他者と感情を共有することができない人もいます。他にも、興味が限定され、こだわりが強い人、特定の音や光などの刺激に過敏、もしくは逆に鈍い人がいるなど、症状は様々です。

幼児期や学齢期では、地域にある支援を使い、子ど

もにあったペースで日常生活のためのスキルや、人とのやりとりに関わるスキルを身につけていくことが大切です。子どもの育ちに関わる大人が環境や関わり方を工夫していくことが望めます。

思春期になると、障がいの有無に関係なく、二次性徴により体の変化が起こり、異性を意識したり、自分を強く意識したりします。様々な問題に直面し、悩みを抱えるのは当然のことでもあります。周りの大人は余暇の過ごし方、自立のための生活術、将来への準備などを見据えながら、子どもがささいなことであっても「うまくいった!」という達成感を体験し、その人らしく将来に向けて歩めるように自信をつけていくことが重要です。

参考:『発達障害がある子どもを育てる本 中学生編』月森 久江 (監修)

『ASD (自閉スペクトラム症、アスペルガー症候群) について』厚生労働省 e-ヘルスネット

健康推進課 (愛知川庁舎)
子育て世代包括支援センター
☎ 0749 - 42 - 7661

